

奈弓連だより

通巻 274号

令和6年12月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 阪中計夫

編集担当 松澤和実 中西省五

連絡先: henshu@narakyudo.jp

第50回奈良県中学校弓道新人大会

団体優勝 男子は橿原中 A、女子は大成中 B

標題の大会が橿原公苑弓道場において11月17日(日)に行われました。3年生が引退して、各学校とも1・2年生の新チームになって初めての県大会でした。

団体戦は1チーム24射(各自4射2回)を行い、個人戦は各自8射(4射2回)を行い、それぞれの中数により順位を決定。参加人数は、男子48名、女子61名でした。

結果は以下の通りです。

<個人戦>

1年男子

優勝 井上 素音(八木中)

2位 岡橋 慶和(八木中)

3位 小川 昂太(大成中)

2年男子

優勝 坂本 郁人(大成中)

2位 菊地 拳(白橿中)

3位 杉本 康徳(香芝中)

女子

優勝 安本 結衣(白橿中)

福重 結衣(八木中)

中野 優花(八木中)

女子

優勝 松尾 涼(大成中)

2位 木村 柑愛(大成中)

3位 松室 奏音(大成中)



前列左から2年 女子、男子 1位~3位

後列左から1年 女子、男子 1位~3位

<団体戦>

男子

優勝 橿原中 A (半田 森内 中島)

2位 橿原中 C (伊東 田中 谷口)

3位 大成中 A (坂本 和田 小川)

女子

優勝 大成中 B (木村 高橋 吉武)

2位 大成中 A (小林 増井 松尾)

3位 白橿中 B (安本 梶井 田中)

昇段おめでとうございます

11月近畿地区臨時中央審査会において次の方が昇段されました。

(11月24日開催)

プロシードアリーナ HIKONE 彦根市弓道場)

六段

原田 温美さん (橿原支部)

おめでとうございます。

(事務局)



男子団体の入賞者

前列1位、後列 左2位 右3位



女子団体の入賞者

前列1位、後列 左2位 右3位

(中体連 中前 芳一)

第 32 回近畿高等学校弓道選抜大会

女子個人・西手選手(桜井)、男子個人・岡田選手(高田商業)が優勝

11月23日と24日、兵庫県立弓道場において開催。

<個人戦> 予選 (4射3中以上予選通過)

女子	上村 遥 (桜井)	1 中
	関本 恋奈 (郡山)	2 中
	西手 一花 (桜井)	3 中→通過
	岡本 ひなた (桜井)	3 中→通過
	藤本 詠深 (桜井)	4 中→通過
	橋本 朋佳 (畝傍)	2 中
男子	藤田 悟瑠 (桜井)	2 中
	岡田 晴登 (高田商業)	3 中→通過
	杵本 大知 (国際)	1 中
	森 陸斗 (畝傍)	2 中
	豊内 陸 (桜井)	4 中→通過
	岩井 欄丸 (畝傍)	3 中→通過

<個人戦> 決勝 (射詰 5 射目より 8 寸的を用いる)

女子個人の部 入賞

	決勝成績
第1位 西手 一花 (桜井)	〇〇〇〇〇
第8位 藤本 詠深 (桜井)	× 遠近

男子個人の部 入賞

	決勝成績
第1位 岡田 晴登 (高田商業)	〇〇〇〇〇
第5位 岩井 欄丸 (畝傍)	〇〇×
第7位 豊内 陸 (桜井)	〇× 遠近



個人入賞者

左から 藤本・西手・岡田・岩井・豊内各選手

<団体戦> 予選 (各自 4 射チーム 12 射)

上位 8 校が決勝トーナメント進出)

男子 桜井 8 中 →通過

(豊内 陸, 今中 悠聖, 東久保 勇信, 中島 拓海)

畝傍 6 中

(佐々岡 隼杜, 森 陸斗, 岩井 欄丸, 森川 琥太良)

高田商業 10 中 →通過

(吉村 琉生, 植木 愛翔, 岡田 晴登, 横谷 日陽輝)

女子 高田商業 7 中 →通過

(小松 美桜, 多留 萌唯沙, 森 綺羅羽, 和田 莓果)

畝傍 9 中 →通過

(森本 真歩, 岡橋 悠, 竹内 杏, 橋本 朋佳)

法隆寺国際 9 中 →通過

(西岡 雨美, 北村 花菜, 太田 明里, 萩原 紗良)

■決勝トーナメント

男子 1 回戦 高田商業、桜井ともに残念ながら敗退。

女子 1 回戦 法隆寺国際は 1 中差で敗退、

畝傍・高田商業が勝ち進み準決勝へ

女子 準決勝

高田商業 8 中 対 畝傍 5 中

高田商業の勝ち

女子 決勝

高田商業は惜しくも 1 中差で準優勝となりました。



女子団体の部 前列 第2位 高田商業高校
後列 第3位 畝傍高校

(高体連 布施 慈人)

第 35 回奈良県大学選手権大会

大会の主幹を務め、交流や協力の大切さを学ぶ

標記の大会が 11 月 24 日 (日) に橿原公苑弓道場で行われました。今年には畿央大学が主幹を務めさせていただきました。部員 3 人と少ない中、師範である土谷先生と共に、準備を行いました。当日も不安が募っていましたが、各大学の皆様のご協力やアドバイスのおかげで大会を終えることができました。本当にありがとうございました。また、矢渡も大会のために何度も練習を重ね、全力を尽くしました。年々参加者が増え、大会前から大会当日まで多くの方々と交流することができました。今回の大会を含め、これからも奈良県の大学弓道が盛んになるように各大学が協力して頑張っていくしますので応援よろしくお願いたします。結果は以下の通りです。

男子団体

第 1 位 奈良県立医科大学 A チーム

第 2 位 天理大学 A チーム

第 3 位 天理大学 B チーム

女子団体

- 第1位 奈良教育大学 B チーム
- 第2位 奈良女子大学 A チーム
- 第3位 奈良県立大学 A チーム



男子団体 左から 2位 1位 3位



女子団体 左から 2位 1位 3位

男子個人

- 第1位 寺谷 仁良 (奈良県立医科大学)
- 第2位 山本 大誠 (天理大学)
- 第3位 岩井 隆盛 (天理大学)

女子個人

- 第1位 孝井 那桜 (奈良教育大学)
- 第2位 倉益 佳乃子 (奈良女子大学)
- 第3位 新井 春香 (奈良教育大学)



(畿央大学 鳥岡・川上・長谷川)

大学連合会講習会

各大学の師範にお越しいただき貴重な時間を過ごす

主任講師に畿央大学土谷尚敬先生、講師に奈良女子大学 新司正人先生、奈良教育大学 奥田章人先生、中西省五先生、奈良県立医科大学 阪中計夫先生、帝塚山大学 藤岡順先生、奈良大学 深田紀美子先生にお越しいただき、12月1日(日) 橿原公苑弓道場で標題の講習会が行われました。講習会では各大学の師範の先生方に体配や射技の指導をしていただきました。体配指導では、基本体に加え、射法八節一つ一つのポイントを教えていただきました。普段の練習でおろそかになってしまう執り弓の姿勢や射位に入って足踏みをする時、弓倒しなど基本的な動作を呼吸、目づかいも交えつつ丁寧にご教授いただきました。審査

では緊張も相まって普段と違うことはできないため、



普段の練習から体配を意識する、そのうえで自分の射

技を見つめなおすことが大切であると学びました。

また、各大学の練習内容や悩みなどを大学間で共有しました。新入部員の安全面に対する対策や、合同稽古の日程などを共有することができ、この交流会は各大学の弓道部をより良くするための貴重な時間となりました。

(奈良教育大学 大西 優奈)

第42回奈良女子弓道大会

冷たい風も吹き飛ばす熱い戦いを

11月23日(土・祝)に標題の大会がロート奈良(奈良市)弓道場において開催されました。今年は中学校1校、高校4校、大学3校が参加、団体28チーム、個人5名、計87名が参加。風が冷たく寒さ厳しい中、熱戦を繰り上げました。試合経験の少ない方も実践しながら競技役員や同じチームの皆様から学び、運営の方法などを知る良い機会となりました。矢数は各自4射2回(1チーム24射)で行い、団体戦では2位3位を遠近2回で決定。個人2段以下の部では5中で1位が決定したため、4中3人で遠近、3段以上は7人が決勝に進み、それぞれの段で凌ぎを削りました。

<団体>

- 1位 奈良 E (眞鍋 由起、増田 和子、岡本 薫子)
- 2位 奈良 H (揚田よう子、猪原 旬子、松村由喜子)
- 3位 奈良 D (土谷ひろみ、井上ゆみ子、吉野みほ子)



団体 1位

後列 3位

前列 2位



＜個人＞ 弐段以下の部

- 1位 孝井 那桜 (奈良教育大学) 弐段
2位 市川 心温 (西和聖陵高校) 1級
3位 吉田 望愛 (天理大学) 弐段



左から
2位 1位 3位

参段以上の部

- 1位 和田 麻利 (檀原) 参段
2位 揚田 よう子 (奈良) 錬六
3位 岡本 蔦子 (奈良) 錬六



左から
2位 1位 3位

(奈良支部 松澤 和実)

《 支部の大掃除、納射会 》

◆郡山支部◆

12月22日(日)大和郡山市弓道場において、年末恒例の大掃除ならびに、納射会が行われました。

当日は曇り空で時折風の吹く天候のなか、安土の整形、弓具庫の整理、物置の備品確認、矢道の草刈り、射場の煤払い等を行い一年間お世話になった道場をリフレッシュすることができました。昼食時には調理班特製の豚汁が提供され、心身ともにほっこりしました。



午後からは、綺麗になった道場で今年最後の協会行事となる納射会が開催されました。今年昇段、昇格された方の演武からはじまり、

参加者それぞれが一手3回の行射をおこない一年間の稽古の成果を確認しました。また、参加者を紅白2チームに分けての紅白戦も企画され、年末行事としての楽しみも加わり大いに盛り上がりつつ、それぞれが来年更なる上達に向けての決意を胸に一年を締めくくりました。
(郡山支部 笹山 智仁)

◆錬弓会支部◆

12月20日(金)檀原公苑弓道場において、錬弓会の納射会が開催されました。朝から冷え込み、霜が降りた冬らしい日となりましたが、40名の会員が参加しました。射手白井礼子会長、介添八木純子、鷲尾佐和子による矢渡しの後、一年の総仕上げの一手行射を心を込めて行いました。全員でお弁当をいただいた後、午後からは運営担当班の趣向を凝らした余興で盛り上がりました。扇的、金的を狙った後は、ストラック



アウト。紅白に別れて得点を競います。ビンゴを狙って外す1点差の戦いに終止符を打ったのは白井会長の一本でした。優勝した白組は景品のチョコを頂きました。

負けた紅組には足袋を洗う洗濯石けんが景品でした。午前の、まるで審査のような緊張感に満ちた道場とはうって変わり、午後からの道場は、わいわい楽しいひとときで一年を締めくくりました。

(錬弓会支部 鷲尾 佐和子)

◆檀原支部◆

12月22日(日)、檀原公苑弓道場の大掃除・納射会を行いました。午前中は雨がぱらつく、寒い中でしたが、道場内の掃除・片付けと安土の手入れができました。午後からは、檀原市弓道協会と錬弓会、総勢48名で納



射会を行いました。今年1年間を振り返り、参加者全員が一手を引きました。最後

には、檀原市弓道協会の衛藤副会長の納射で今年1年の活動を締めくくりました。

(檀原支部 奥田 章人)

編 | 集 | 後 | 記

今年最後は中学・高校・大学、そして一般の皆様の活躍が紹介できました。来年も皆様の活躍を紹介し、紙面での交流そして記録としての役割も担っていきたいと思います。来年もよろしく願い申し上げます。

(編集担当 松澤 和実)